

# 企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2009年12月調査）

2010年1月

株式会社 日通総合研究所

## 目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向 .....	3
2. 輸送機関利用の動向 .....	7
(1) 一般トラック .....	8
(2) 特別積合せトラック .....	9
(3) 宅配便 .....	10
(4) 鉄道コンテナ .....	11
(5) 内航コンテナ .....	12
(6) 国内航空 .....	13
3. 輸出入貨物量の動向 .....	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー .....	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー .....	16
(3) 国際航空 ー輸出ー .....	17
(4) 国際航空 ー輸入ー .....	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向 .....	19
(1) 在庫量 ー原材料ー .....	20
(2) 在庫量 ー製品ー .....	21
(3) 営業倉庫保管量 .....	22
5. 運賃・料金の動向 .....	23
(1) 一般トラック運賃 .....	24
(2) 特別積合せトラック運賃 .....	25
(3) 鉄道コンテナ運賃 .....	26
(4) 内航コンテナ運賃 .....	27
(5) 国内航空運賃 .....	28
(6) 営業倉庫保管料金 .....	29
6. 物流コスト割合の動向 .....	30

## I. 調査の内容

**目的** : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

**方法** : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標<sup>(\*)</sup>とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[ \begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[ \begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(\*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

**調査対象** : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

## —今回調査の回収・集計状況—

今回調査は、2009年10～12月の実績と2010年1～3月の見通しを12月中旬時点でうかがったものであり、1,057社からご協力をいただき、回答率は42.3%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

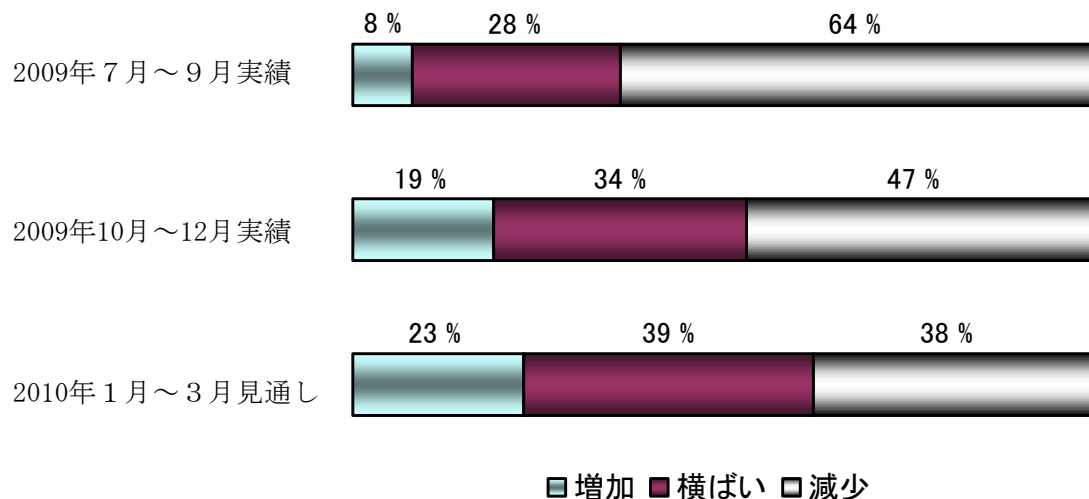
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	109	47.0
	繊 維 ・ 衣 服	111	45	40.5
	木 材 ・ 家 具	96	37	38.5
	パ ル プ ・ 紙	107	52	48.6
	化学・プラスチック	238	110	46.2
	窯 業 ・ 土 石	102	44	43.1
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	100	51.0
	金 属 製 品	128	56	43.8
	一 般 機 械	222	94	42.3
	電 気 機 械	333	139	41.7
	輸 送 用 機 械	250	87	34.8
	精 密 機 械	67	26	38.8
	そ の 他	167	59	35.3
	計	2,249	958	42.6
卸 売 業	生 産 財	124	50	40.3
	消 費 財	127	49	38.6
	計	251	99	39.4
合 計		2,500	1,057	42.3

## Ⅱ. 調査の結果

### － 1. 国内向け出荷量の動向－

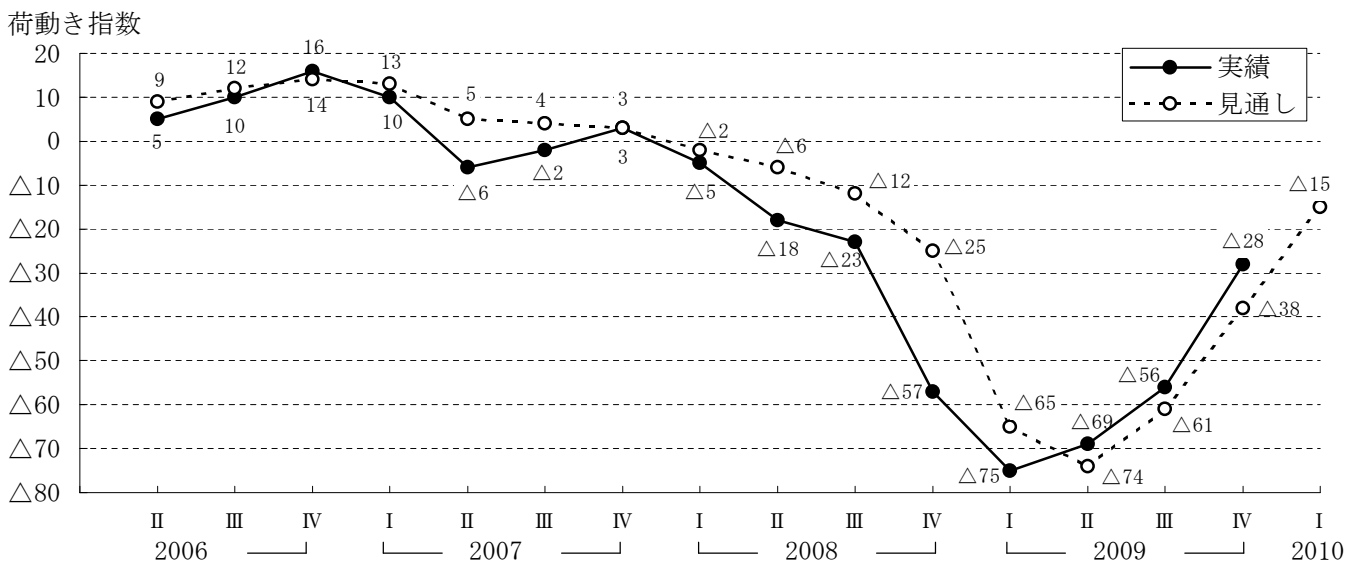
- 2009年10～12月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2009年7～9月）実績より11ポイント上昇し19%となった。一方、「減少」との回答は前期より17ポイント低下し47%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は28ポイント上昇して△28となった。
- 2010年1～3月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2009年10～12月）実績（見込み）より4ポイント上昇し23%となり、「減少」との回答は9ポイント低下し38%になる。この結果『荷動き指数』は13ポイント上昇して△15と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2009年1～3月実績で『荷動き指数』は△75まで落ち込んだものの、4～6月実績以降は上昇に転じ、10～12月実績（見込み）で△28、2010年1～3月見通しでは△15と、マイナス幅は次第に縮小の方向にある。このため、荷動きには持ち直しに向けての兆しが窺えるが、『荷動き指数』は依然として2ケタのマイナスにとどまっており、荷動きの力強い回復にはなお時間を要するであろう。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2010年I期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2009年IV期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 2009年10～12月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、化学・プラスチックが唯一プラスを示す以外、残りの業種はすべてマイナスで、輸送用機械が1ケタのマイナスにとどまるほかは、いずれの業種も2ケタのマイナスとなった。

■ 2010年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、化学・プラスチックのプラス幅が拡大するほか、輸送用機械およびその他の製造業がプラスに転じ、鉄鋼・非鉄も水面まで戻すなど、過半数の業種で『荷動き指数』の改善が見込まれる。しかしながら、2ケタのマイナスを示す業種が依然として9業種あり、荷動きの回復には至らない。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	107	15	41	44	△ 29	106	11	49	40	△ 29
繊維・衣服	45	11	22	67	△ 56	45	13	24	63	△ 50
木材・家具	37	11	27	62	△ 51	37	2	41	57	△ 55
パルプ・紙	51	14	39	47	△ 33	51	22	47	31	△ 9
化学・プラスチック	108	30	45	25	5	108	31	45	24	7
窯業・土石	44	20	18	62	△ 42	44	18	39	43	△ 25
鉄鋼・非鉄	99	19	30	51	△ 32	99	34	32	34	0
金属製品	55	20	27	53	△ 33	55	27	24	49	△ 22
一般機械	94	13	27	60	△ 47	94	15	29	56	△ 41
電気機械	136	28	32	40	△ 12	135	31	36	33	△ 2
輸送用機械	86	29	36	35	△ 6	86	34	44	22	12
精密機械	26	4	58	38	△ 34	26	8	46	46	△ 38
その他	59	22	36	42	△ 20	59	34	47	19	15
計	947	20	34	46	△ 26	945	24	39	37	△ 13
卸売業										
生産財	49	10	33	57	△ 47	49	8	41	51	△ 43
消費財	45	20	27	53	△ 33	44	7	52	41	△ 34
計	94	15	30	55	△ 40	93	8	46	46	△ 38
合計	1,041	19	34	47	△ 28	1,038	23	39	38	△ 15

■ 2009年10～12月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての地域が2ケタのマイナスを示した。とりわけ四国および九州・沖縄では『荷動き指数』が△40台に達し、荷動きの減退が続いている。

■ 2010年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、すべての地域で『荷動き指数』の改善が見込まれ、中国では△8と1ケタのマイナスまで戻す。しかしながら、引き続き、四国および九州・沖縄では『荷動き指数』が△30台にとどまっており、荷動きの減退圧力が大きい。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

地 域	2009年9月～12月実績					2010年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北海道	48	19	35	46	△ 27	48	18	40	42	△ 24
東北	95	21	36	43	△ 22	95	23	37	40	△ 17
関東	244	21	39	40	△ 19	244	24	42	34	△ 10
北陸・信越	105	20	31	49	△ 29	105	24	35	41	△ 17
東海	148	24	26	50	△ 26	148	24	42	34	△ 10
近畿	152	20	32	48	△ 28	150	24	36	40	△ 16
中国	102	20	31	49	△ 29	101	26	40	34	△ 8
四国	62	14	31	55	△ 41	62	13	40	47	△ 34
九州・沖縄	85	12	36	52	△ 40	85	15	40	45	△ 30
合計	1,041	19	34	47	△ 28	1,038	23	39	38	△ 15

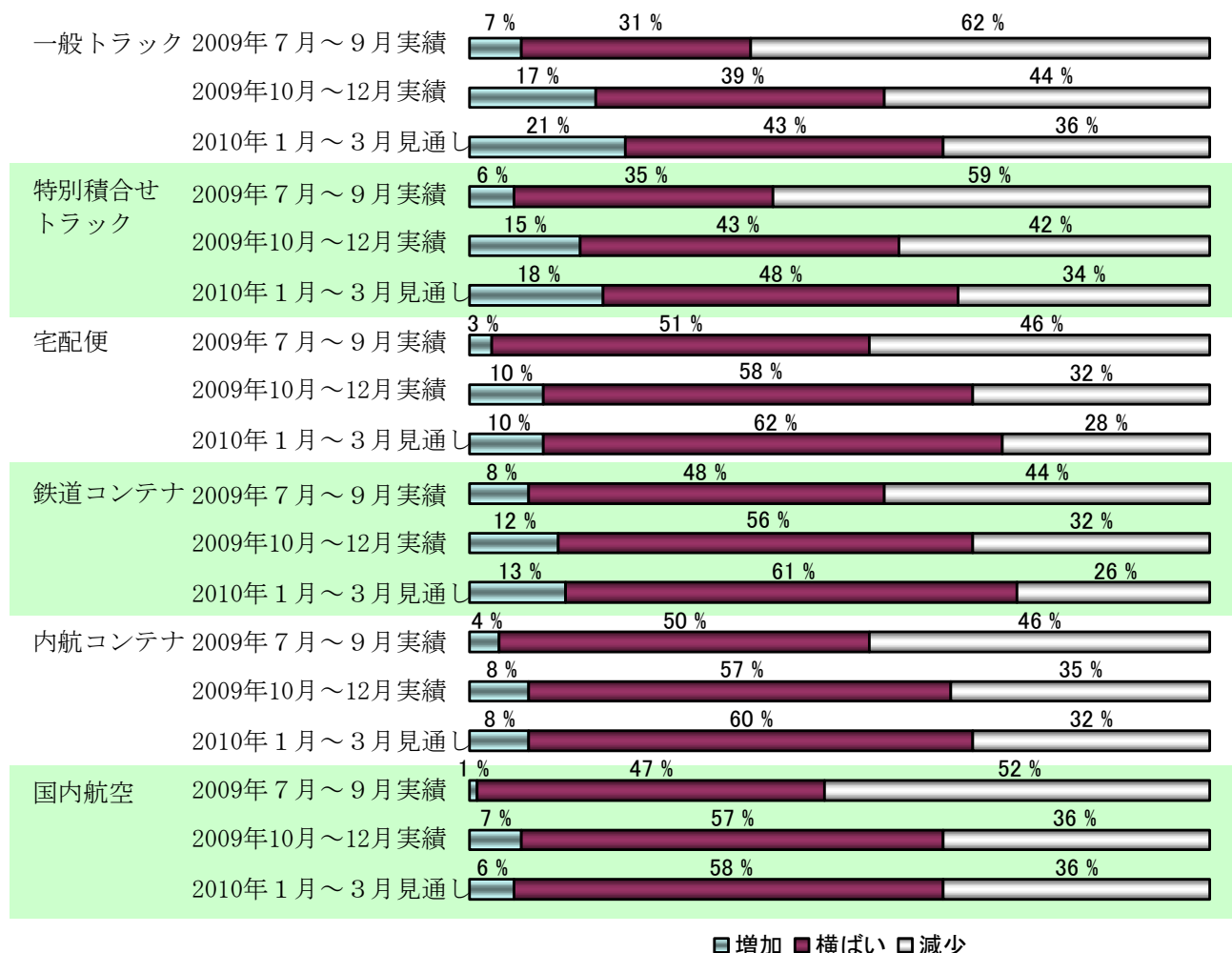


## － 2. 輸送機関利用の動向－

■ 2009年10～12月の輸送機関利用の実績（見込み）をみると、すべての輸送機関で『利用動向指数』は△20台のマイナスを示したが、前期（2009年7～9月）実績との比較では、各機関とも20ポイント前後の改善がみられた。

■ 2010年1～3月の見通しについては、国内航空を除いて、前期（2009年10～12月）実績（見込み）よりさらに『利用動向指数』が改善するとみられるが、改善幅は縮小し、利用回復に向けての足取りは重い。一方、国内航空については、『利用動向指数』が弱含み横ばいで推移し、利用の減退が続くとみられる。

各輸送機関の利用の実績と見通し



## (1) 一般トラック

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、化学・プラスチックが唯一プラスを示すほかは、残りすべての業種がマイナスで、輸送用機械を除いて2ケタのマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△27で、前期（2009年7～9月）実績との比較では28ポイントの上昇がみられた。

■ 2010年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械およびその他の製造業がプラスに反転し、鉄鋼・非鉄も水面近くまで戻すことなどにより、業種全体の『利用動向指数』は△15と12ポイントの改善が見込まれる。このため、利用の減退圧力は緩和が期待されるものの、利用回復には至らない。

### 一般トラック利用の実績と見通し

業 種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	106	15	47	38	△ 23	103	11	54	35	△ 24
	繊維・衣服	38	11	34	55	△ 44	37	14	32	54	△ 40
	木材・家具	36	5	28	67	△ 62	36	3	39	58	△ 55
	パルプ・紙	51	12	43	45	△ 33	51	18	51	31	△ 13
	化学・プラスチック	109	27	48	25	2	109	32	45	23	9
	窯業・土石	42	21	21	58	△ 37	40	20	35	45	△ 25
	鉄鋼・非鉄	96	16	32	52	△ 36	95	31	36	33	△ 2
	金属製品	53	21	32	47	△ 26	53	28	28	44	△ 16
	一般機械	87	8	34	58	△ 50	86	13	31	56	△ 43
	電気機械	125	24	38	38	△ 14	125	22	45	33	△ 11
	輸送用機械	86	25	41	34	△ 9	86	33	47	20	13
	精密機械	24	8	54	38	△ 30	24	8	42	50	△ 42
その他	58	19	40	41	△ 22	58	29	49	22	7	
計	911	18	39	43	△ 25	903	22	42	36	△ 14	
卸 売 業	生産財	46	9	43	48	△ 39	43	4	47	49	△ 45
	消費財	44	20	32	48	△ 28	44	9	50	41	△ 32
	計	90	14	38	48	△ 34	87	7	48	45	△ 38
合計	1,001	17	39	44	△ 27	990	21	43	36	△ 15	

## (2) 特別積合せトラック

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスで、化学・プラスチックを除いて2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△27で、前期（2009年7～9月）実績からは26ポイント上昇した。

■ 2010年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、その他の製造業がプラスに転じ、パルプ・紙および化学・プラスチックもゼロ水準まで戻す。業種全体の『利用動向指数』は11ポイント上昇して△16と見込まれ、マイナス幅は次第に縮小するものの、依然として利用の減退が続く見通しである。

### 特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	62	8	50	42	△34	61	7	52	41	△34
	繊維・衣服	35	11	37	52	△41	34	15	38	47	△32
	木材・家具	28	11	43	46	△35	29	7	59	34	△27
	パルプ・紙	30	16	37	47	△31	30	30	40	30	0
	化学・プラスチック	91	20	54	26	△6	91	23	54	23	0
	窯業・土石	29	7	38	55	△48	28	14	47	39	△25
	鉄鋼・非鉄	57	12	46	42	△30	56	29	41	30	△1
	金属製品	42	21	36	43	△22	42	24	36	40	△16
	一般機械	67	7	40	53	△46	66	10	38	52	△42
	電気機械	103	22	34	44	△22	103	26	42	32	△6
	輸送用機械	57	16	56	28	△12	57	14	65	21	△7
	精密機械	11	10	45	45	△35	11	10	45	45	△35
	その他	45	24	40	36	△12	45	29	53	18	11
計	657	16	43	41	△25	653	20	47	33	△13	
卸売業	生産財	37	5	41	54	△49	34	6	32	62	△56
	消費財	32	18	44	38	△20	32	6	66	28	△22
	計	69	12	42	46	△34	66	6	49	45	△39
合計	726	15	43	42	△27	719	18	48	34	△16	

### (3) 宅配便

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスで、食料品・飲料およびパルプ・紙が1ケタのマイナスにとどまる以外は、残りすべての業種が2ケタのマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△22で、前期（2009年7～9月）実績からは21ポイントの改善がみられた。

■ 2010年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準まで戻し、鉄鋼・非鉄も水面近くまで浮上するが、食料品・飲料や精密機械などでは『利用動向指数』の悪化が見込まれる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△18と4ポイントの上昇にとどまり、利用回復に向けての足取りは重い。

#### 宅配便利用の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	71	13	66	21	△ 8	69	5	70	25	△ 20
	繊維・衣服	40	7	53	40	△ 33	40	7	58	35	△ 28
	木材・家具	29	7	59	34	△ 27	28	11	57	32	△ 21
	パルプ・紙	28	14	68	18	△ 4	27	15	70	15	0
	化学・プラスチック	84	8	73	19	△ 11	84	8	74	18	△ 10
	窯業・土石	30	7	33	60	△ 53	28	4	50	46	△ 42
	鉄鋼・非鉄	55	11	65	24	△ 13	55	15	69	16	△ 1
	金属製品	48	8	59	33	△ 25	48	15	58	27	△ 12
	一般機械	87	2	50	48	△ 46	85	6	53	41	△ 35
	電気機械	119	16	54	30	△ 14	119	13	58	29	△ 16
	輸送用機械	68	13	58	29	△ 16	68	13	66	21	△ 8
	精密機械	24	0	54	46	△ 46	24	4	42	54	△ 50
	その他	46	6	61	33	△ 27	46	11	65	24	△ 13
計	729	10	58	32	△ 22	721	10	62	28	△ 18	
卸売業	生産財	38	11	47	42	△ 31	37	11	51	38	△ 27
	消費財	35	14	57	29	△ 15	35	11	60	29	△ 18
	計	73	12	52	36	△ 24	72	11	56	33	△ 22
合計	802	10	58	32	△ 22	793	10	62	28	△ 18	

#### (4) 鉄道コンテナ

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスで、化学・プラスチックおよびその他の製造業を除いて2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△20で、前期（2009年7～9月）実績より16ポイント上昇した。

■ 2010年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄およびその他の製造業がプラスに反転することなどにより、業種全体の『利用動向指数』は△13と7ポイントの改善が見込まれる。この結果、鉄道コンテナは他の輸送機関に比べれば『利用動向指数』のマイナス幅がもっとも小さいが、利用回復にはなお遠い。

#### 鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	47	8	66	26	△18	46	4	70	26	△22
	繊維・衣服	14	0	43	57	△57	14	14	50	36	△22
	木材・家具	15	13	54	33	△20	15	7	60	33	△26
	パルプ・紙	33	9	58	33	△24	33	9	64	27	△18
	化学・プラスチック	73	22	55	23	△1	73	21	60	19	2
	窯業・土石	13	8	38	54	△46	13	0	46	54	△54
	鉄鋼・非鉄	31	13	45	42	△29	31	35	49	16	19
	金属製品	19	16	58	26	△10	19	11	68	21	△10
	一般機械	25	8	56	36	△28	25	4	60	36	△32
	電気機械	41	7	54	39	△32	41	10	56	34	△24
	輸送用機械	28	14	54	32	△18	28	14	61	25	△11
	精密機械	4	0	50	50	△50	4	0	25	75	△75
その他	27	19	59	22	△3	27	15	74	11	4	
計	370	13	55	32	△19	369	13	61	26	△13	
卸売業	生産財	13	7	62	31	△24	13	7	62	31	△24
	消費財	12	8	67	25	△17	12	0	83	17	△17
	計	25	8	64	28	△20	25	4	72	24	△20
合計	395	12	56	32	△20	394	13	61	26	△13	

(5) 内航コンテナ

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスで、過半数の業種が△30を上回る大幅なマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△27で、前期（2009年7～9月）実績より15ポイント上昇した。

■ 2010年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械やその他の製造業などではマイナス幅の縮小が期待されるものの、木材・家具などではいっそうの悪化が見込まれる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△24と3ポイントの改善にとどまり、利用の減退が続く見通しである。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	30	6	67	27	△ 21	29	3	73	24	△ 21
	繊維・衣服	10	0	40	60	△ 60	10	0	40	60	△ 60
	木材・家具	9	0	56	44	△ 44	9	0	44	56	△ 56
	パルプ・紙	19	5	63	32	△ 27	19	5	63	32	△ 27
	化学・プラスチック	42	17	57	26	△ 9	42	21	55	24	△ 3
	窯業・土石	11	9	27	64	△ 55	11	0	45	55	△ 55
	鉄鋼・非鉄	18	5	56	39	△ 34	18	6	61	33	△ 27
	金属製品	19	5	58	37	△ 32	19	0	68	32	△ 32
	一般機械	26	3	62	35	△ 32	25	8	60	32	△ 24
	電気機械	34	12	53	35	△ 23	34	9	53	38	△ 29
輸送用機械	23	17	57	26	△ 9	23	13	65	22	△ 9	
精密機械	2	0	50	50	△ 50	2	0	50	50	△ 50	
その他	22	9	64	27	△ 18	22	9	73	18	△ 9	
計	265	9	57	34	△ 25	263	8	60	32	△ 24	
卸 売 業	生産財	10	0	60	40	△ 40	10	0	70	30	△ 30
	消費財	10	0	50	50	△ 50	10	0	60	40	△ 40
	計	20	0	55	45	△ 45	20	0	65	35	△ 35
合計	285	8	57	35	△ 27	283	8	60	32	△ 24	

## (6) 国内航空

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△29で、前期（2009年7～9月）実績からは22ポイント上昇した。

■ 2010年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、引き続きすべての業種が2ケタのマイナスで、大きな動きはみられず、業種全体の『利用動向指数』は△30と、弱含み横ばいで推移する見通しである。この結果、国内航空は他の輸送機関と比べて『利用動向指数』のマイナス幅がもっとも大きく、利用減退が続くとみられる。

### 国内航空利用の実績と見通し

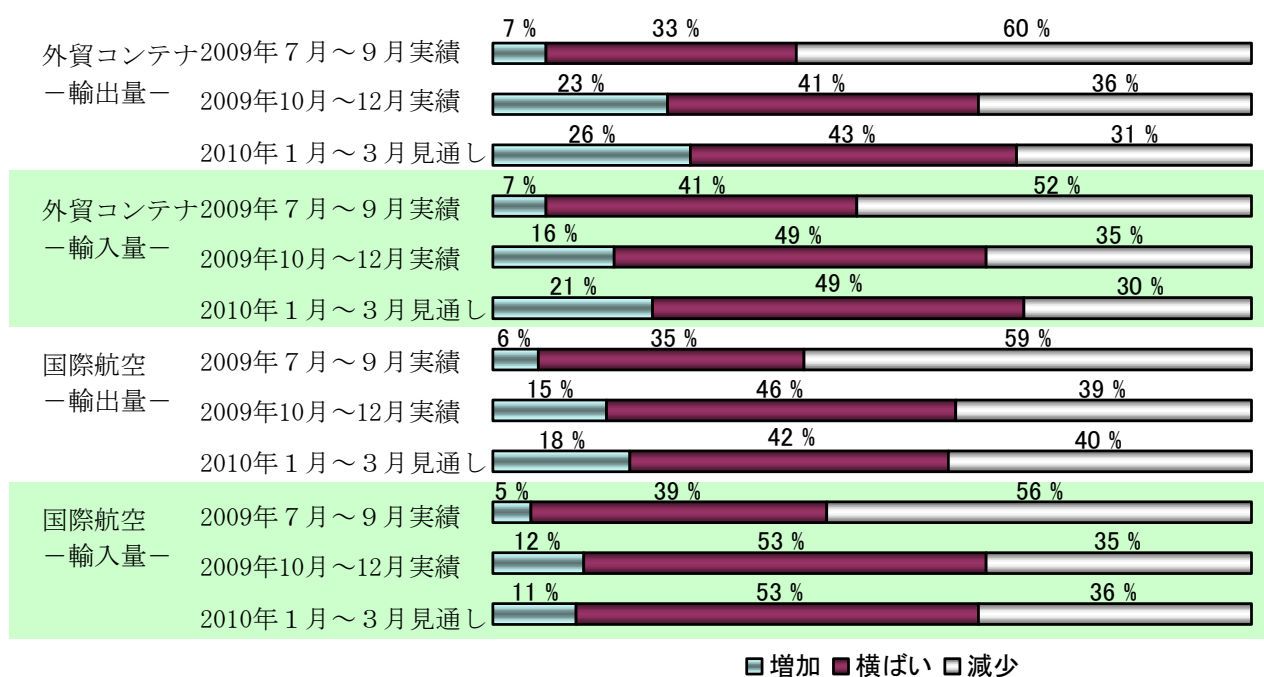
業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	20	0	75	25	△ 25	20	0	70	30	△ 30
	繊維・衣服	11	0	45	55	△ 55	11	0	55	45	△ 45
	木材・家具	7	0	86	14	△ 14	7	0	57	43	△ 43
	パルプ・紙	4	0	50	50	△ 50	4	0	75	25	△ 25
	化学・プラスチック	30	3	77	20	△ 17	30	6	67	27	△ 21
	窯業・土石	14	7	43	50	△ 43	14	0	57	43	△ 43
	鉄鋼・非鉄	19	10	58	32	△ 22	19	10	58	32	△ 22
	金属製品	16	12	38	50	△ 38	16	12	44	44	△ 32
	一般機械	47	2	51	47	△ 45	46	4	43	53	△ 49
	電気機械	68	15	47	38	△ 23	68	13	47	40	△ 27
	輸送用機械	29	10	62	28	△ 18	29	3	73	24	△ 21
	精密機械	10	0	50	50	△ 50	10	0	60	40	△ 40
	その他	18	5	67	28	△ 23	19	5	69	26	△ 21
計	293	7	56	37	△ 30	293	6	57	37	△ 31	
卸売業	生産財	14	0	71	29	△ 29	14	0	79	21	△ 21
	消費財	12	0	58	42	△ 42	12	0	83	17	△ 17
	計	26	0	65	35	△ 35	26	0	81	19	△ 19
合計	319	7	57	36	△ 29	319	6	58	36	△ 30	

### － 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナおよび国際航空の輸出入ともマイナス幅が縮小し、とくに外貿コンテナの輸出では、前期（2009年7～9月）実績より40ポイントの改善がみられた。

■ 2010年1～3月の『荷動き指数』見通しについては、外貿コンテナでは輸出入とも1ケタのマイナスまで戻して、荷動きには回復の兆しが窺える。一方、国際航空では『荷動き指数』が輸出入とも小幅の変化で推移し、荷動き回復に向けての動きには一服感がみられる。

輸出入貨物量の実績と見通し





(1) 外貿コンテナ —輸出—

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙、化学・プラスチックおよび窯業・土石の3業種がプラスで、残り12業種はマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△13と、前期（2009年7～9月）実績に比べ40ポイントの大幅な改善となった。

■ 2010年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄および輸送用機械がプラスに反転し、食料品・飲料など4業種もゼロ水準まで上昇するなど、ほとんどの業種で改善がみられる。業種全体の『荷動き指数』は△5と1ケタのマイナスまで戻して、荷動き回復の兆しが窺える。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	12	8	75	17	△9	12	8	84	8	0
	繊維・衣服	8	12	25	63	△51	8	25	0	75	△50
	木材・家具	4	0	50	50	△50	4	0	100	0	0
	パルプ・紙	18	33	39	28	5	18	45	33	22	23
	化学・プラスチック	55	36	39	25	11	55	36	46	18	18
	窯業・土石	19	42	21	37	5	19	58	5	37	21
	鉄鋼・非鉄	38	21	45	34	△13	38	32	39	29	3
	金属製品	15	27	33	40	△13	15	33	33	33	0
	一般機械	61	16	34	50	△34	61	16	41	43	△27
	電気機械	60	15	47	38	△23	60	16	52	32	△16
	輸送用機械	44	25	45	30	△5	44	30	45	25	5
	精密機械	16	12	50	38	△26	16	18	44	38	△20
	その他	28	32	29	39	△7	29	31	38	31	0
計	378	24	40	36	△12	379	27	43	30	△3	
卸売業	生産財	9	0	56	44	△44	9	0	56	44	△44
	消費財	8	0	75	25	△25	8	12	63	25	△13
	計	17	0	65	35	△35	17	6	59	35	△29
合計	395	23	41	36	△13	396	26	43	31	△5	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙が唯一プラス、消費財卸がゼロ水準を示すほかは、残りすべての業種がマイナスで、その他の製造業など3業種を除いて2ケタのマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△19で、前期（2009年7～9月）実績からは26ポイント上昇した。

■ 2010年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、化学・プラスチック、窯業・土石およびその他の製造業がプラスに反転するなど、多くの業種で改善が見込まれる。この結果、業種全体の『荷動き指数』は△9と、外貿コンテナの輸出と同様、1ケタのマイナスまで戻して、荷動き回復に向けての動きが期待される。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	18	5	56	39	△34	18	6	61	33	△27
	繊維・衣服	13	23	23	54	△31	13	23	23	54	△31
	木材・家具	8	0	63	37	△37	8	0	63	37	△37
	パルプ・紙	11	27	55	18	9	11	36	46	18	18
	化学・プラスチック	52	13	68	19	△6	52	25	60	15	10
	窯業・土石	17	30	35	35	△5	17	41	35	24	17
	鉄鋼・非鉄	25	12	60	28	△16	25	12	64	24	△12
	金属製品	15	20	47	33	△13	15	13	54	33	△20
	一般機械	56	13	41	46	△33	56	16	43	41	△25
	電気機械	60	22	33	45	△23	60	23	40	37	△14
	輸送用機械	48	16	46	38	△22	48	25	46	29	△4
	精密機械	14	7	50	43	△36	14	14	43	43	△29
その他	28	21	54	25	△4	29	28	52	20	8	
計	365	16	48	36	△20	366	21	48	31	△10	
卸売業	生産財	8	0	50	50	△50	8	0	50	50	△50
	消費財	13	15	70	15	0	13	15	70	15	0
	計	21	9	62	29	△20	21	9	62	29	△20
合計	386	16	49	35	△19	387	21	49	30	△9	

### (3) 国際航空 —輸出—

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、木材・家具が唯一ゼロ水準にとどまる以外は、残りすべての業種がマイナスを示し、化学・プラスチックおよびその他の製造業を除いて2ケタのマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△24で、前期（2009年7～9月）実績からは29ポイントの改善がみられた。

■ 2010年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、金属製品など一部の業種でマイナス幅の縮小が見込まれる以外は、大きな動きはみられず、業種全体の『荷動き指数』は△22と小幅の改善にとどまろう。この結果、荷動きの早急な回復は期待できない。

#### 国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	5	0	80	20	△20	5	0	80	20	△20
	繊維・衣服	8	12	25	63	△51	8	13	13	74	△61
	木材・家具	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	パルプ・紙	2	0	50	50	△50	2	0	50	50	△50
	化学・プラスチック	23	13	65	22	△9	23	17	57	26	△9
	窯業・土石	14	21	36	43	△22	14	21	36	43	△22
	鉄鋼・非鉄	19	21	47	32	△11	19	21	47	32	△11
	金属製品	15	20	40	40	△20	15	33	27	40	△7
	一般機械	61	10	38	52	△42	60	13	32	55	△42
	電気機械	66	23	42	35	△12	66	26	38	36	△10
	輸送用機械	30	10	47	43	△33	30	10	47	43	△33
精密機械	19	16	47	37	△21	19	15	53	32	△17	
その他	22	27	41	32	△5	22	28	36	36	△8	
計	287	16	45	39	△23	286	18	41	41	△23	
卸売業	生産財	9	0	67	33	△33	9	0	67	33	△33
	消費財	7	14	57	29	△15	7	0	86	14	△14
	計	16	6	63	31	△25	16	0	75	25	△25
合計	303	15	46	39	△24	302	18	42	40	△22	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、木材・家具および化学・プラスチックの2業種がゼロ水準にとどまる以外は、残りすべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△23で、前期（2009年7～9月）実績との比較では28ポイントの上昇となった。

■ 2010年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、木材・家具および化学・プラスチックもマイナスに沈み、すべての業種がマイナスとなる。業種全体の『荷動き指数』は△25と、小幅ながら再び悪化の見込みで、荷動きは減退が続く見通しである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

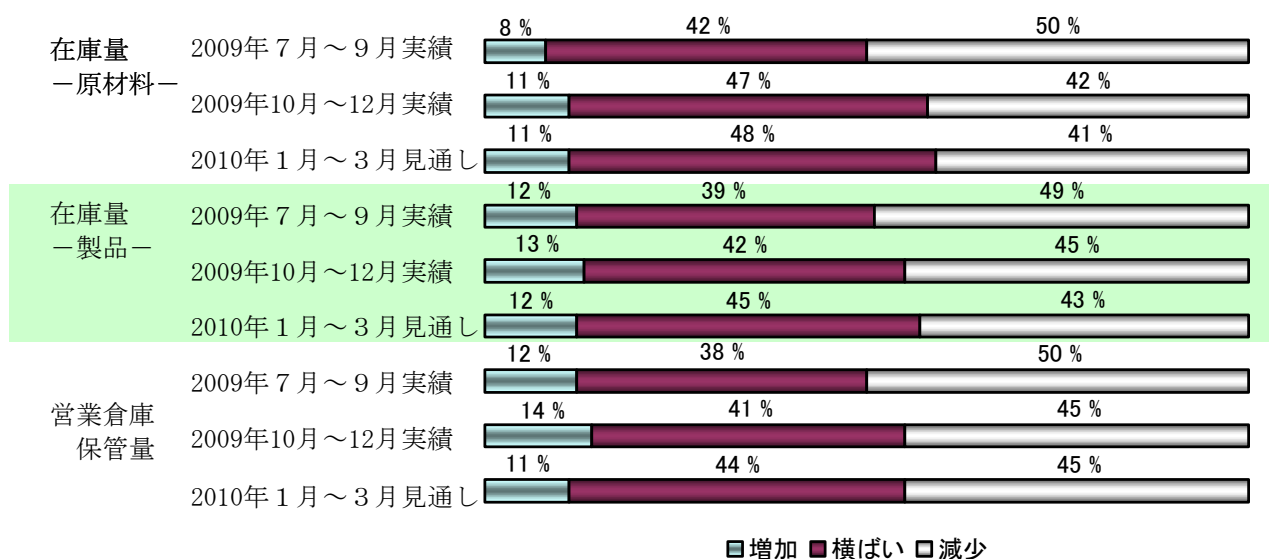
業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	5	0	60	40	△40	5	0	60	40	△40
	繊維・衣服	9	11	56	33	△22	9	12	44	44	△32
	木材・家具	4	0	100	0	0	4	0	75	25	△25
	パルプ・紙	2	0	50	50	△50	2	0	50	50	△50
	化学・プラスチック	25	16	68	16	0	25	20	56	24	△4
	窯業・土石	9	11	67	22	△11	9	0	89	11	△11
	鉄鋼・非鉄	16	6	75	19	△13	16	6	75	19	△13
	金属製品	11	9	64	27	△18	11	9	64	27	△18
	一般機械	49	2	49	49	△47	48	4	42	54	△50
	電気機械	60	28	30	42	△14	60	22	40	38	△16
	輸送用機械	35	11	52	37	△26	35	9	57	34	△25
	精密機械	18	5	67	28	△23	18	5	67	28	△23
	その他	18	6	61	33	△27	18	5	56	39	△34
計	261	12	53	35	△23	260	11	53	36	△25	
卸売業	生産財	8	12	50	38	△26	8	12	50	38	△26
	消費財	8	12	50	38	△26	8	0	63	37	△37
	計	16	12	50	38	△26	16	6	56	38	△32
合計	277	12	53	35	△23	276	11	53	36	△25	

#### － 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2009年10～12月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫利用の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫利用とも『動向指数』は△30を超えるマイナスを示した。前期（2009年7～9月）実績との比較では、在庫量、営業倉庫利用とも『動向指数』は上昇した。

■ 2010年1～3月の見通しでは、原材料在庫および製品在庫では『動向指数』は概ね横ばい、営業倉庫利用については3ポイントの低下が見込まれる。このため、在庫圧縮および営業倉庫利用の削減が続き、改善の兆しは窺えない。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△31で、前期（2009年7～9月）実績との比較では11ポイントの改善がみられた。

■ 2010年1～3月の『在庫動向指数』見通しでは、大きな動きはみられず、引き続きすべての業種が2ケタのマイナスを示す。業種全体の『在庫動向指数』は強含み横ばいで推移するとみられ、原材料在庫は圧縮が続く見通しである。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	86	10	54	36	△ 26	86	7	59	34	△ 27
	繊維・衣服	41	2	44	54	△ 52	40	4	43	53	△ 49
	木材・家具	32	9	53	38	△ 29	32	6	56	38	△ 32
	パルプ・紙	44	9	52	39	△ 30	44	14	52	34	△ 20
	化学・プラスチック	103	11	66	23	△ 12	103	8	68	24	△ 16
	窯業・土石	37	8	41	51	△ 43	36	11	31	58	△ 47
	鉄鋼・非鉄	90	8	46	46	△ 38	90	15	47	38	△ 23
	金属製品	50	10	38	52	△ 42	50	12	38	50	△ 38
	一般機械	82	10	40	50	△ 40	81	10	31	59	△ 49
	電気機械	108	14	32	54	△ 40	108	13	38	49	△ 36
	輸送用機械	75	18	43	39	△ 21	75	12	52	36	△ 24
	精密機械	23	4	53	43	△ 39	23	4	53	43	△ 39
	その他	51	16	49	35	△ 19	51	18	49	33	△ 15
計	822	11	47	42	△ 31	819	11	48	41	△ 30	
卸売業	生産財	27	7	41	52	△ 45	27	11	52	37	△ 26
	消費財	27	19	44	37	△ 18	27	11	56	33	△ 22
	計	54	13	43	44	△ 31	54	11	54	35	△ 24
合計	876	11	47	42	△ 31	873	11	48	41	△ 30	

(2) 在庫量 —製品—

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△32で、前期（2009年7～9月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 2010年1～3月の『在庫動向指数』見通しでも、引き続き全業種が2ケタのマイナスを示し、原材料在庫と同様、目立った動きはみられない。業種全体の『在庫動向指数』は強含み横ばいでの推移が見込まれ、製品在庫は削減が続く見通しである。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	89	16	44	40	△ 24	89	9	55	36	△ 27
	繊維・衣服	42	7	50	43	△ 36	41	12	39	49	△ 37
	木材・家具	32	9	41	50	△ 41	32	9	38	53	△ 44
	パルプ・紙	48	12	48	40	△ 28	48	17	52	31	△ 14
	化学・プラスチック	105	15	52	33	△ 18	105	11	56	33	△ 22
	窯業・土石	39	10	33	57	△ 47	38	8	39	53	△ 45
	鉄鋼・非鉄	91	9	42	49	△ 40	91	12	41	47	△ 35
	金属製品	50	24	28	48	△ 24	50	26	30	44	△ 18
	一般機械	88	14	31	55	△ 41	87	8	32	60	△ 52
	電気機械	116	14	32	54	△ 40	116	16	37	47	△ 31
	輸送用機械	81	13	46	41	△ 28	81	10	52	38	△ 28
	精密機械	24	8	46	46	△ 38	24	4	50	46	△ 42
	その他	56	14	48	38	△ 24	56	19	43	38	△ 19
計	861	13	41	46	△ 33	858	12	44	44	△ 32	
卸売業	生産財	45	9	44	47	△ 38	45	6	58	36	△ 30
	消費財	40	15	50	35	△ 20	40	7	58	35	△ 28
	計	85	12	47	41	△ 29	85	7	58	35	△ 28
合計	946	13	42	45	△ 32	943	12	45	43	△ 31	

### (3) 営業倉庫保管量

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『保管動向指数』は、すべての業種がマイナスで、食料品・飲料が唯一1ケタのマイナスにとどまるほかは、残りすべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『保管動向指数』は△31で、前期（2009年7～9月）実績からは7ポイント上昇した。

■ 2010年1～3月の『保管動向指数』見通しでは、食料品・飲料も2ケタのマイナスに落ち込み、すべての業種が2ケタのマイナスとなる。業種全体の『保管動向指数』は△34と3ポイント低下する見込みで、営業倉庫保管量は圧縮圧力が強まる見通しである。

#### 営業倉庫保管量の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	72	23	46	31	△8	72	16	56	28	△12
	繊維・衣服	22	5	36	59	△54	22	0	32	68	△68
	木材・家具	26	4	50	46	△42	26	4	50	46	△42
	パルプ・紙	37	13	46	41	△28	37	13	46	41	△28
	化学・プラスチック	88	14	45	41	△27	88	10	56	34	△24
	窯業・土石	31	6	29	65	△59	31	3	35	62	△59
	鉄鋼・非鉄	58	9	41	50	△41	58	9	48	43	△34
	金属製品	29	14	45	41	△27	29	10	49	41	△31
	一般機械	59	12	34	54	△42	58	12	24	64	△52
	電気機械	80	16	36	48	△32	80	16	38	46	△30
	輸送用機械	49	22	33	45	△23	49	14	39	47	△33
	精密機械	16	6	50	44	△38	16	6	44	50	△44
	その他	40	15	35	50	△35	39	13	38	49	△36
計	607	14	40	46	△32	605	11	44	45	△34	
卸売業	生産財	36	14	39	47	△33	36	6	50	44	△38
	消費財	33	15	49	36	△21	33	3	45	52	△49
	計	69	14	44	42	△28	69	4	48	48	△44
合計	676	14	41	45	△31	674	11	44	45	△34	

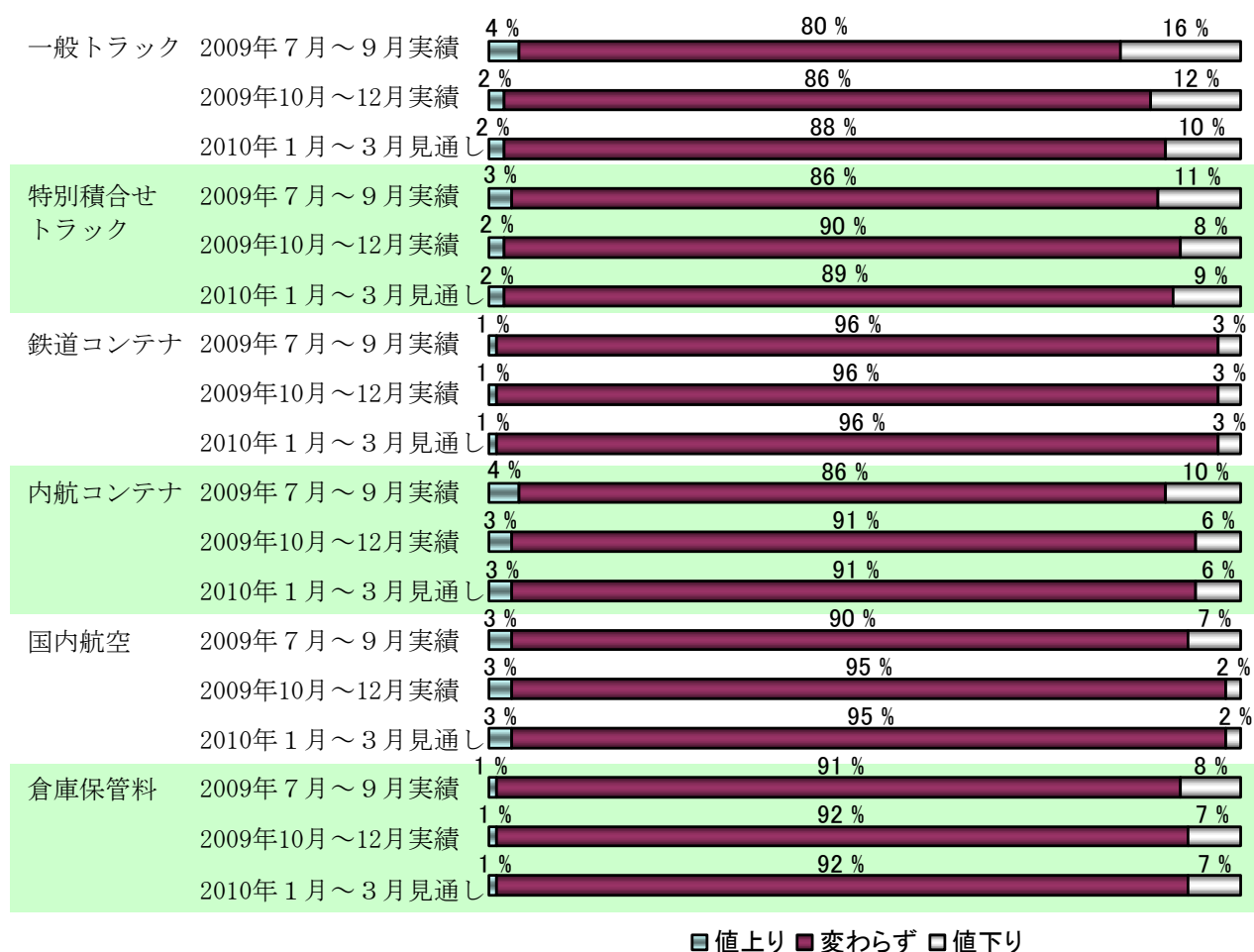


## － 5. 運賃・料金の動向－

■ 2009年10～12月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、国内航空がプラス1と僅かながら水面上に浮上した以外は、残りすべての機関がマイナスを示した。前期（2009年7～9月）実績との比較では、『動向指数』は総じて小幅ながら改善へ向かった。

■ 2010年1～3月の『動向指数』見通しについては、一般トラックで小幅の上昇が見込まれる以外は、概ね横ばいで推移する見通しである。この結果、国内航空の運賃水準は現状維持が見込まれるが、その他の機関については、程度の差はあれ、運賃・料金水準の低下が続く見通しである。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

- 2009年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、すべての業種がマイナスを示し、過半数の業種で2ケタのマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△10で、前期(2009年7～9月)実績との比較では、小幅の上昇がみられた。
- 2010年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、引き続きすべての業種がマイナスを示し、業種全体の『運賃動向指数』は△8と小幅の上昇で推移しよう。この結果、運賃水準は低下が続く見通しである。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	102	2	83	15	△13	100	3	86	11	△8
	繊維・衣服	37	0	89	11	△11	37	0	92	8	△8
	木材・家具	34	0	82	18	△18	34	0	85	15	△15
	パルプ・紙	50	2	86	12	△10	50	2	90	8	△6
	化学・プラスチック	108	3	85	12	△9	107	3	85	12	△9
	窯業・土石	40	2	85	13	△11	40	2	88	10	△8
	鉄鋼・非鉄	95	3	79	18	△15	95	3	83	14	△11
	金属製品	54	0	89	11	△11	54	2	89	9	△7
	一般機械	87	3	88	9	△6	86	2	88	10	△8
	電気機械	123	3	86	11	△8	122	4	88	8	△4
輸送用機械	82	1	88	11	△10	81	0	89	11	△11	
精密機械	22	0	91	9	△9	22	0	86	14	△14	
その他	57	2	86	12	△10	57	5	83	12	△7	
計	891	2	85	13	△11	885	2	87	11	△9	
卸売業	生産財	46	0	98	2	△2	46	0	98	2	△2
	消費財	43	5	81	14	△9	43	2	89	9	△7
	計	89	2	90	8	△6	89	1	93	6	△5
合計	980	2	86	12	△10	974	2	88	10	△8	

## (2) 特別積合せトラック運賃

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、プラスを示す業種は皆無で、窯業・土石および一般機械がゼロ水準にとどまる以外は、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△6で、前期（2009年7～9月）実績からは小幅の上昇となった。

■ 2010年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、一般機械も水面下に沈み、窯業・土石が唯一ゼロ水準を示す以外は、残りすべての業種がマイナスとなる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は△7と弱含み横ばいでの推移が見込まれ、運賃水準は一般トラックと同様、低下が続くとみられる。

### 特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業 種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	63	1	89	10	△9	64	1	86	13	△12
	繊維・衣服	34	0	94	6	△6	34	0	91	9	△9
	木材・家具	26	7	81	12	△5	26	7	81	12	△5
	パルプ・紙	31	0	87	13	△13	30	0	80	20	△20
	化学・プラスチック	91	4	86	10	△6	91	4	86	10	△6
	窯業・土石	29	3	94	3	0	29	3	94	3	0
	鉄鋼・非鉄	56	1	88	11	△10	55	0	91	9	△9
	金属製品	42	2	91	7	△5	42	2	91	7	△5
	一般機械	65	2	96	2	0	64	2	95	3	△1
	電気機械	100	2	89	9	△7	99	3	89	8	△5
	輸送用機械	56	4	89	7	△3	56	2	89	9	△7
	精密機械	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10
	その他	45	4	87	9	△5	45	4	87	9	△5
計	648	3	89	8	△5	645	2	89	9	△7	
卸 売 業	生産財	33	0	97	3	△3	34	0	97	3	△3
	消費財	32	3	91	6	△3	32	0	91	9	△9
	計	65	1	94	5	△4	66	0	94	6	△6
合計	713	2	90	8	△6	711	2	89	9	△7	

### (3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、輸送用機械など3業種がプラス、繊維・衣服など7業種がゼロ水準、食料品・飲料など5業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△2で、前期（2009年7～9月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2010年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、電気機械がプラスに上昇する一方、輸送用機械はマイナスに反転し、その他の製造業もゼロ水準まで下降するなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は、引き続き横ばいで推移する見通しである。この結果、運賃水準は小幅ながら低下が続くとみられる。

#### 鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	47	0	98	2	△2	47	0	98	2	△2
	繊維・衣服	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
	木材・家具	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
	パルプ・紙	34	0	97	3	△3	34	0	97	3	△3
	化学・プラスチック	74	1	99	0	1	74	1	99	0	1
	窯業・土石	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	31	0	94	6	△6	31	0	94	6	△6
	金属製品	21	0	95	5	△5	21	0	95	5	△5
	一般機械	25	0	100	0	0	24	0	100	0	0
	電気機械	41	5	90	5	0	41	2	98	0	2
	輸送用機械	26	8	88	4	4	26	0	92	8	△8
精密機械	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25	
その他	27	7	89	4	3	27	7	86	7	0	
計	372	2	95	3	△1	371	1	96	3	△2	
卸 売 業	生産財	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	消費財	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
	計	25	0	100	0	0	25	0	100	0	0
合計	397	1	96	3	△2	396	1	96	3	△2	

#### (4) 内航コンテナ運賃

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料およびパルプ・紙の2業種がプラス、繊維・衣服など6業種がゼロ水準、木材・家具など7業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△3で、前期（2009年7～9月）実績との比較では3ポイント上昇した。

■ 2010年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、電気機械がプラスに反転し、窯業・土石がゼロ水準まで戻す一方、一般機械および輸送用機械がマイナスに沈むなど、業種により明暗がみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移しよう。この結果、運賃水準は引き続き低下する見通しである。

#### 内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	29	7	93	0	7	29	3	97	0	3
	繊維・衣服	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	木材・家具	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
	パルプ・紙	15	7	93	0	7	15	7	93	0	7
	化学・プラスチック	40	2	90	8	△6	40	2	90	8	△6
	窯業・土石	12	0	92	8	△8	12	8	84	8	0
	鉄鋼・非鉄	22	4	82	14	△10	22	5	77	18	△13
	金属製品	19	0	95	5	△5	19	0	95	5	△5
	一般機械	25	0	100	0	0	25	0	96	4	△4
	電気機械	33	3	91	6	△3	33	3	97	0	3
	輸送用機械	20	10	80	10	0	20	0	90	10	△10
	精密機械	2	0	50	50	△50	2	0	50	50	△50
	その他	17	6	88	6	0	17	6	88	6	0
計	251	4	90	6	△2	251	3	91	6	△3	
卸売業	生産財	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	消費財	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	計	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0
合計	267	3	91	6	△3	267	3	91	6	△3	

## (5) 国内航空運賃

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石など5業種がプラス、繊維・衣服など7業種がゼロ水準、精密機械など3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期（2009年7～9月）実績より5ポイント上昇した。

■ 2010年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、電気機械がプラスに上昇する一方、鉄鋼・非鉄がマイナスに沈み、金属製品もゼロ水準まで下降するなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移する見通しである。この結果、他の機関では運賃・料金水準の低下が見込まれるなか、国内航空の運賃水準は概ね現状維持で推移しよう。

### 国内航空運賃の実績と見通し

業種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	20	5	95	0	5	20	5	95	0	5
	繊維・衣服	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	木材・家具	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
	化学・プラスチック	26	0	96	4	△4	26	0	96	4	△4
	窯業・土石	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
	鉄鋼・非鉄	19	5	90	5	0	19	0	95	5	△5
	金属製品	18	11	83	6	5	18	6	88	6	0
	一般機械	50	6	94	0	6	49	4	96	0	4
	電気機械	65	3	94	3	0	65	5	92	3	2
	輸送用機械	29	3	97	0	3	29	3	97	0	3
	精密機械	12	0	83	17	△17	12	0	83	17	△17
その他	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0	
計	298	4	94	2	2	297	3	95	2	1	
卸売業	生産財	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	消費財	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9
	計	25	0	96	4	△4	25	0	96	4	△4
合計	323	3	95	2	1	322	3	95	2	1	

## (6) 営業倉庫保管料金

■ 2009年10～12月実績（見込み）の『料金動向指数』は、プラス業種は皆無で、金属製品が唯一ゼロ水準にとどまる以外は、残りすべての業種がマイナスを示した。業種全体の『料金動向指数』は△6で、前期（2009年7～9月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2010年1～3月の『料金動向指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準まで戻す以外は、目立った動きはみられない。この結果、業種全体の『料金動向指数』は横ばいで推移するとみられ、料金水準は低下が続く見通しである。

### 営業倉庫保管料金の実績と見通し

業 種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	60	0	93	7	△ 7	60	1	92	7	△ 6
	繊 維 ・ 衣 服	20	0	95	5	△ 5	20	0	95	5	△ 5
	木 材 ・ 家 具	14	0	93	7	△ 7	14	0	100	0	0
	パ ル プ ・ 紙	30	3	90	7	△ 4	30	3	90	7	△ 4
	化学・プラスチック	80	1	96	3	△ 2	80	1	96	3	△ 2
	窯 業 ・ 土 石	25	0	84	16	△ 16	25	0	84	16	△ 16
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	46	0	96	4	△ 4	46	0	93	7	△ 7
	金 属 製 品	26	0	100	0	0	26	0	100	0	0
	一 般 機 械	58	0	97	3	△ 3	57	0	96	4	△ 4
	電 気 機 械	76	1	88	11	△ 10	76	2	87	11	△ 9
	輸 送 用 機 械	44	5	84	11	△ 6	43	5	81	14	△ 9
	精 密 機 械	15	0	80	20	△ 20	15	0	80	20	△ 20
そ の 他	42	0	86	14	△ 14	42	0	93	7	△ 7	
計	536	1	92	7	△ 6	534	1	92	7	△ 6	
卸 売 業	生 産 財	31	0	94	6	△ 6	31	0	97	3	△ 3
	消 費 財	21	0	90	10	△ 10	21	0	90	10	△ 10
	計	52	0	92	8	△ 8	52	0	94	6	△ 6
合 計	588	1	92	7	△ 6	586	1	92	7	△ 6	

## － 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2009年10～12月実績（見込み）の『動向指数』は、化学・プラスチックおよび消費財卸の2業種がプラス、木材・家具など4業種がゼロ水準で、残り9業種がマイナスを示した。業種全体の『動向指数』は△6で、前期（2009年7～9月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2010年1～3月の『動向指数』見通しでは、パルプ・紙でマイナス幅の縮小が見込まれるものの、木材・家具など5業種がマイナスに転じ、消費財卸もゼロ水準まで下降することなどにより、消費財卸を除くすべての業種がマイナスとなる。業種全体の『動向指数』は弱含み横ばいでの推移が見込まれ、物流コスト割合は引き続き低下する見通しである。

### 物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2009年10月～12月実績					2010年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	106	18	63	19	△ 1	106	14	71	15	△ 1
	繊 維 ・ 衣 服	44	6	64	30	△ 24	44	9	55	36	△ 27
	木 材 ・ 家 具	36	25	50	25	0	36	22	47	31	△ 9
	パ ル プ ・ 紙	52	10	65	25	△ 15	52	10	73	17	△ 7
	化学・プラスチック	110	18	67	15	3	110	15	68	17	△ 2
	窯 業 ・ 土 石	44	25	50	25	0	44	20	53	27	△ 7
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	96	19	62	19	0	96	15	67	18	△ 3
	金 属 製 品	56	12	59	29	△ 17	56	10	63	27	△ 17
	一 般 機 械	88	16	59	25	△ 9	87	15	61	24	△ 9
	電 気 機 械	135	24	52	24	0	135	22	54	24	△ 2
	輸 送 用 機 械	83	13	65	22	△ 9	83	12	66	22	△ 10
精 密 機 械	26	15	62	23	△ 8	26	12	65	23	△ 11	
そ の 他	54	19	57	24	△ 5	54	15	65	20	△ 5	
計	930	18	60	22	△ 4	929	15	63	22	△ 7	
卸 売 業	生 産 財	49	22	49	29	△ 7	49	18	55	27	△ 9
	消 費 財	47	21	62	17	4	47	17	66	17	0
	計	96	22	55	23	△ 1	96	18	60	22	△ 4
合 計	1,026	17	60	23	△ 6	1,025	15	63	22	△ 7	